_{令和元年度} 決算見込み

金額は1万円未満を四捨五入しています。()内は構 成比。各グラフ・表中の数字は端数処理してあります。 問い合わせ=財政課財政担当(☎内線 527)

般会計

市の中心部分を担う事業における会計です。歳入から歳出を引いた差額の23億6,728万 円は、令和2年度への繰越金や基金(市の貯金)への積み立てとなります。

7 471 億 3,760 万円

地方消費税交付金(4.4%) 20 億 8,003 万円

県支出金(7.6%) 36 億 339 万円

市債(7.8%) 36 億 8,920 万円

国庫支出金(11.9%) 56 億 1,736 万円

> 地方交付税(21.3%) 100億4,364万円

地方譲与税(0.9%) 4億 421 万円 その他(0.9%) 3億9,990万円

市税(28.4%) 134 億 160 万円

> 諸収入(6.0%) 28 億 5,084 万円

繰入金(4.5%) 20 億 9,767 万円

使用料および手数料(2.7%) 12 億 6,542 万円

繰越金(2.6%) 12億3,824万円 財産収入(0.6%) 2億5.975万円 その他(0.4%) 1億8,635万円

歳入の内訳

自主財源(45.2%)

212 億 9.987 万円

依存財源(54.8%)

258 億 3,773 万円

歳入は、市独自の「自主財源」と、 国や県からの「依存財源」に分け られます。現在は、歳入の50パー セント以上を、依存財源に頼らざ るを得ない状況となっています。

市税の内訳

市民税	60 億 6,801 万円	
固定資産税	56 億 3,777 万円	
軽自動車税	3億3,596万円	
市たばこ税	5億7,364万円	
都市計画税	7億8,543万円	
入湯税	79 万円	

447 億 7,032 万円

農林水産業費(1.6%) 7億2,310万円

商工費(4.0%) 17 億 7,633 万円

消防費(4.8%) 21 億 6,240 万円

公債費(8.6%) 38 億 7,261 万円

総務費(8.7%) 39 億 489 万円 議会費(0.7%) 3億3,056万円 労働費(0.2%) 7,821 万円 災害復旧費(0.1%)5,228万円

> 民生費 (37.1%) 165 億 9,011 万円

衛生費(9.2%) 41 億 870 万円

> 土木費(10.5%) 46 億 7,949 万円

教育費(14.5%) 64億9,164万円

諸収入

用語解説

他市からの受託事業収入など 繰入金

基金や特別会計から繰り入れたお金 地方交付税

地方自治体へ国が交付したもの 国庫・県支出金

国・県からの負担金、補助金など

国や銀行などから借り入れたもの 民生費

社会福祉の充実、子育て支援など 教育費

学校教育、生涯学習、文化振興など 土木費

道路や河川の整備、維持管理など

清掃、疾病予防、健康増進など

戸籍の管理、税金の徴収など 公債費

市債の返済(元金や利息)など 消防費

消防、災害対策など 商工費

商工業、観光振興など

市民1人・1世帯当たりの金額(一般会計)



	市民1人当たり	1 世帯当たり
納めたお金 (市税、使用料および手数料)	13万3,958円	29万 5,135円
使ったお金	40 万 8,899 円	90万884円



※令和2年3月31日の人口(109,490人)と世帯数(49,696世帯)により算出

特別会計

会計名	歳入		歳出
云司石		(内、一般会計繰入額)	
学校給食共同調理場事業	6億8,836万円	3億 4,467 万円	6億8,836万円
国民健康保険事業	125 億 4,084 万円	10 億 3,340 万円	123 億 9,607 万円
下水道事業	29 億 3,430 万円	12 億 8,466 万円	28 億 8,439 万円
介護保険事業	136 億 681 万円	19 億 4,246 万円	132 億 9,518 万円
農業集落排水事業	2億 5,360 万円	2億1,348万円	2億 5,360 万円
住宅新築資金等貸付事業	1,555 万円	1 万円	107 万円
新里温水プール事業	2,112 万円	_	1,620 万円
発電事業	2億 5,217 万円	_	1 億 8,043 万円
後期高齢者医療事業	16 億 2,415 万円	4億 5,484 万円	16 億 2,341 万円
合計	319 億 3,690 万円	52 億 7,352 万円	313 億 3,871 万円

水道事業会計

水道利用者の使用料金が主な財源の事業会計です。

令和元年度の差引純利益は、前年度より 14.4 パーセン ト減少の見込みです。

この純利益は、浄水場をはじめとする老朽化した各施設 の整備や水道管の交換のほか、借入金の返済などに充てて いく予定です。

収益的収支

建設改良事業

収益	20億5,237万円
費用	17億7,580万円
差引純利益	2億7,657万円

財源	27億323万円	
支出	27億323万円	

財産の状況

資産	
固定資産	219億4,189万円
流動資産	55億8,848万円
合計	275億3,037万円

負債および資本		
資本金ほか	172億754万円	
企業債	62億1,251万円	
引当金ほか	41億1,032万円	
合計	275億3,037万円	

財産と市債

令和2年3月31日現在の状況です。 (水道事業会計を除く)

財産の状況

土地(山	林を含む)	10,575,605m²
建物		705,557 m²
有価証差	· *	4,794 万円
基金	財政調整基金**	36億7,748万円
本立	その他の基金	88億5,783万円

※財源に余裕がある年に積み立てる貯金

市債の状況

	臨時財政対策債*	202億2,753万円
一般	土木債	42億2,839万円
会計	教育債	51億8,895万円
	その他	48億7,190万円
特別	下水道事業債	136億4,133万円
会計	その他	10億6,467万円

※収支の不足額を補てんするため、特例発行する地方債